

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2011.8.5 No. 112 連絡先 FAX 042-555-1911



## 核兵器ゼロへ！世界に20,500発の核兵器がある

NPTで核保有を認められた国		保有を宣言か推定される国	
ロシア	11,000	パキスタン	90~110
アメリカ	8,500	インド	80~100
フランス	300	イスラエル	80
中国	240	北朝鮮	不明
イギリス	225		

(ストックホルム国際平和研究所 2011年版)

## ラジオ深夜便から 広島と長崎で被爆した山口さんの声が流れてきた

ラジオ深夜便族になりかかっているという方の話です。「7月30日午前1時過ぎ、うとうとしていたら、ラジオから広島と長崎で被爆した故・山口彊（つとむ）さんの話す声が聞こえる。こころの時代・アンコールでした。二重被爆の衝撃、白内障、耳が聞こえなくなったこと、進駐軍で働いたことも。59歳の子どもを亡くした時は、幼い頃被爆したからかとあれこれ考えたこと、被爆後、川を人が折り重なって筏（いかだ）のようだったことなど話していました。」

昨年12月、イギリスのBBCテレビは、クイズ番組で山口さんを「世界一運が悪い男」と笑い話として取り上げ、スタジオからは笑い声も漏れたそうですが、番組側は批判をあびて謝罪しました。この話は皆さんも心にトゲのように残っているのではないのでしょうか。

2011年1月23日の琉球新報のコラムは「原爆投下直後、英国にも『ノー・モア・ヒロシマ』は伝わった。だが、米ソの核軍拡競争の中で、やがて原爆批判は埋もれていく。原爆投下が戦争を早く終わらせ、大勢の米軍の犠牲を回避したとの論が、米国ではまかり通る。『国内でばやばやせずに、海外へ発信しないといけない。被爆者の思いはまだまだ伝わっていない』、生前、山口さんの口癖だった。その遺言通り、被爆国としてもっと発信せねば、人類の教訓が軽々しく、薄っぺらに扱われる。」と報じました。ノー・モア・被爆者。核兵器廃絶しかありません。

## 米軍赤坂プレス・センターの一部土地（約15%）が返還される！

防衛省は7月29日、日米合同委員会（2007.4.23）で合意が得られていた赤坂プレス・センターの一部土地（約4,700㎡）が本日返還された、と報じました。既存の施設（ガソリンスタンド等）の施設の移設工事が完了したから、ということです。一部返還前の面積は31,670㎡でした。ここの使用部隊は星条旗新聞社他。国立新美術館の近くですが、ヘリコプターの離発着が多い。



## ←基地第5ゲート 工事続行中

横田基地には航空総隊司令部等の自衛隊員が約800人移ってくるので、米軍再編経費でゲートを大改造しています。

コンクリート(?)堀も外して、間口も広くなるのでしょうか。(2011.7.29撮影)

## 日本で訓練、世界各地へ 米陸軍の任務訓練センター 運用へ (No. 112 の裏面)

米陸軍の相模総合補給廠（しょう）（神奈川県相模原市）に建設していた任務指揮訓練センター（MissionCommand TrainingCenter）が完成し、8月から運用が開始されます。

7月27日、神奈川県平和委員会とキャンプ座間周辺連絡会に参加する地元の主婦、平和委員会、年金者組合、国民救援会、共産党相模原市議団など代表11人は、任務指揮訓練センターの撤去を求めて、相模原市に要請を行いました。



任務指揮訓練センターは、当初の「戦闘指揮」の名称を「任務指揮」に変更しました。米軍再編の目玉として米ドル予算で建設されています。2007年12月に米陸軍キャンプ座間に発足した米第1軍団前方司令部の訓練を担う施設です。任務指揮訓練センターの面積は約7,400㎡で、教室4室、演習想定管理・運営などを行う作業室7室、旅団・大隊レベルの司令部が訓練する再構成型戦術作戦センター4室などがあるようです。今後、自衛隊との共同使用・共同訓練も可能（米軍発表）と言われています。日米軍事一体化がますます強まります。（写真：任務指揮訓練センター 米軍HPより）

### 「航空総隊司令部が横田に移転したあとは府中基地はどうなるの？」

空自府中基地に行ってきました …横田基地問題を考える会の盛岡輝道さんのレポート

来年3月までに航空総隊司令部が横田基地に移転したあとは、空自府中基地は一体どうなるのか、そもそも府中基地ってどんな基地なのか。去る7月15日、横田基地問題を考える会の4人が、京王線東府中駅のすぐそばにある空自府中基地に行ってきました。

府中基地の広報部にこちらの質問事項を知らせたら、それらは全部、さいたまの副都心にある北関東防衛局でないと答えられないという返事でしたが、とにかく府中基地がどんな姿なのかそれだけでも見に行くというと、では基地正面横の「面会所」にきてくれということに。

これでは形だけの面会で終わりになってしまうので、「沖縄県民と連帯する府中の会」に連絡して、基地側との面会後に双方の交流をしましょうと提案したら快諾していただきました。

当日は「府中の会」の岡田会長さんと鈴木事務局長さんを加えて計6名が基地の「面会所」に入り、総務部長の杉淵と名乗る、アタリの柔らかい愛想のいい自衛官ほか1名と面会。「『さいたま副都心の関東防衛局に行ってこい』などという不親切なことを言わず、近所に住んでいる地元の住民には、惜しまず情報を提供するように。これに懲りずにまた、何度でも来るからよろしく！」と言い置いて、約20分の面会を終えました。

このあと、岡田さんと鈴木さんに1時間くらいかけて基地の周りを案内してもらいました。途中で、返還された基地跡地に建てられた公立の会館で休憩を取って、結成以来16回目の定期総会を開いたばかりという「府中の会」の活動振りを教えていただき、近いうちに両方の会で府中基地についてのつつこんだ勉強会をもちましょと話し合ってきました。

このように、どこへでも出かけて、何でも知ろうという「考える会」の行動で、疑問を一つひとつ解いていき、また志が同じ仲間と手を結びあって行くことが、本当に大切だと思います。

### 8月21日(日) 横田座り込み行動の会場は、福生公園（福生市民会館前）に変更！

20日、21日は横田基地友好祭のため、通常借りている公園は、地元町内会が使用します。

「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の毎月第3日曜日座り込み行動：午後1時30分～3時30分